新規事業採択時評価結果（平成２０年度新規事業化箇所）

担　当　課：道路局　国道・防災課
担当課長名：深澤　淳志

事業の概要

事業名	地域高規格道路　鳥取豊岡宮津自動車道 一般国道１７８号　浜坂道路	事業区分	一般国道	事業主体	兵　庫　県
起終点	起点：美方郡香美町香住区余部 終点：美方郡新温泉町栃谷			延長	９．８km

事業概要

鳥取豊岡宮津自動車道は、鳥取県東部地方生活圏と兵庫県但馬地方生活圏、京都府北部地方生活圏間の時間距離を短縮し、連携強化を図る地域高規格道路である。浜坂道路は、鳥取豊岡宮津自動車道の一部を構成する延長9.8kmの２車線道路である。

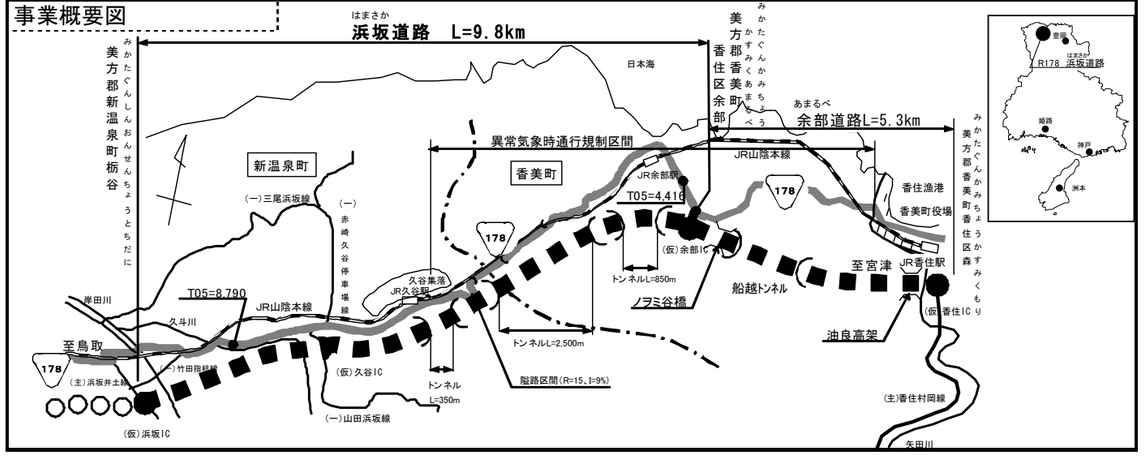
事業の目的、必要性

浜坂道路は、
- 現国道178号の幅員狭小トンネル、線形不良区間、平面踏切の回避
- 現国道178号の異常気象時通行規制区間、防災点検要対策箇所の回避
- 高次医療施設へのアクセス改善
- 地域観光、産業振興への寄与

等を目的とする。

全体事業費	約２４３億円	計画交通量	6,700～7,000　台／日

事業概要図



関係する地方公共団体等の意見

但馬地域の全市町で構成する但馬・地域高規格道路推進協議会等から、鳥取豊岡宮津自動車道の次期事業化区間として、当該工区の早期整備が要望されている。

事業採択の前提条件

便益が費用を上回っている
地元の団体等から早期整備の要望を受けており、円滑な事業執行の環境が整っている。

事業評価結果

費用対便益	B／C	１．６	総費用　202億円 事業費：193億円 維持管理費：8.5億円	総便益　313億円 走行時間短縮便益：241億円 走行経費減少便益：56億円 交通事故減少便益：16億円	基準年 平成２０年

感度分析の結果			
交通量変動	B/C=1.1　（交通量　－10%）	B/C=2.2　（交通量　＋10%）
事業費変動	B/C=1.4　（事業費　＋10%）	B/C=1.6　（事業費　-10%）
事業期間変動	B/C=1.5　（事業期間 +２年）	B/C=1.6　（事業期間　-2年）

事業の影響		評価項目	評価	根拠
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	－	【渋滞損失時間の改善】 【1kmあたり（台kmあたり）渋滞損失時間】 【渋滞度曲線】 【その他の特徴】 夏期観光シーズンに、新温泉町中心部の国道178号において渋滞（H19.8.13 L=800m）が発生しており当道路の整備により渋滞解消が期待できる。 ※データは県内平均・全国平均と比較すること
		事故対策	－	【死傷事故率】　（死傷事故率比　） （事故率曲線における位置：　　） 【その他の特徴】 ※データは県内平均・全国平均と比較すること
		歩行空間	○	通過交通を本道路に転換させることにより、現道の安全対策を図る
	社会全体への影響	住民生活	◎	但馬地方唯一の三次救急医療機関である豊岡病院へのアクセス時間を短縮（６５分→５０分）し、地域の安全・安心を確保する。
		地域経済	○	北近畿豊岡自動車道等の高規格幹線道路と連絡することにより、阪神間の消費地等との移動時間を短縮（２０５分→１９０分）し地域の観光・産業の振興に寄与する。
		災　害	◎	異常気象時の通行規制区間、防災総点検要対策箇所（８箇所）等を有する現国道178号のリダンダンシー機能を確保する。
		環　境	－	
		地域社会	○	・鳥取豊岡宮津自動車道の沿線市町の連携が強化される。
事業実施環境			◎	ルート検討などにおいてパブリックインボルブメントを実施しており、地元の事業執行環境は整っている。

採択の理由

事業主体である兵庫県が実施した評価結果に基づけば、費用便益比が1.6と便益が費用を上回っていることから、事業採択の前提条件が確認できる。
また、本道路の整備は高規格幹線道路とネットワークすることにより地域の利便性・活力の向上、安心・安全の確保が図られる等から整備効果は高いと判断できる。
以上により、本事業を採択した。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。